



PTAでよくある困りごと

PTA専用支援サービスPTA'Sにこれまでに実際に相談があった困りごとと、解決した事例を紹介します。



パソコンや文書作成が苦手!

毎月行われる役員会議の議事録や総会の資料、保護者に出すお手紙など、書類を作成することも多いのがPTA業務。パソコンや文書作成が得意な人がいればいいのですが、年度によっては不得意な人ばかりになることも。慣れない人がやると不備が多く、何度もやり直すことにもなります。→①



情報共有手段の課題

連絡手段がLINEやメーリングリスト、USBなどに分散しており、最新の打ち合わせ資料を探そうと思っても探しづらい。過去の資料は全部紙で、学校に行かないと確認できない。効率化を考えて、よかれと思ってITツールを検討しても、どれがいいかわからないし、機能が豊富過ぎても使いこなせないのよね。→②



旗振り当番を補完する見守りシステム

「旗振り当番」をしても、子ども達の下校時間や下校ルートバラバラで、見守れているか不安。子ども達の放課後を、もっと広域でカバーできる、仕組みやツールはないかしら →③



支払いをオンラインにしたい!

ネットで備品を買いたいと思っても、銀行の窓口で振込処理をするというアナログの方法が通例。クレジットカードが使えると便利だが、PTAでカードを作ることが難しい。→④



PTA'Sで紹介されている解決事例

- ① 在宅ワークママによる書記代行サービスを活用する
- ② キントーンでのPTA専用アプリパックを使う
- ③ 地域見守りのIoTシステム「otta」の導入
子どもが専用の見守り端末を持ち歩くと、学校や通学路、子ども110番の家などの見守りスポットや、見守りアプリを持つ見守り人・見守りタクシーなどにより、行動履歴が記録され、いざという時に追跡できる。
- ④ PTAのクレジットカード導入サービス
(現在同サービスは休止中)

⑤ ぶりに会長を決めなくてもいい!

副会長はじめ、他の役員で役割分担すればいい。もともと普通のお父さんお母さんなのだから、会長じゃなきゃいけない業務なんてないはず。大切なのは情報を共有することです。会長に限らず、決まらない役職は無理に決めず、他の策を考えればいいと思います。書記の業務が負担ならアウトソースするか、今までのやりかたにこだわらず、できる方法を考えていきましょう。

PTA専用支援サービス
PTA'S 増島佐和子さん



会長のなり手がいない! →⑤



変化していくPTA

コロナ禍も契機となり活動を見直しているPTAが増えてきました。横浜市立小学校の2つのPTAにお話を伺いました。

{ 改革の効果が出てきています }

横浜市立桜台小学校PTA(保土ヶ谷区) 会長:小畑 亜希恵さん

委員活動をした時にとっても大変に感じたので、PTAの負担を減らしていきたいと考え役員を引き受けました。同時にコロナ禍になったこともあり、業務全体を見直しきっかけとなりました。

【見直した点】

- 学校へ行く回数を減らす〜委員会や会議などで集まる回数・人数を減らした/学校への連絡はメールを使用
- 負担が大きかった印刷業務を見直しペーパーレス化〜年2回発行していた広報紙を1回に/委員会のおたより発行回数も減らした/学校のHPやメール配信を活用

【活動を変えて良かったこと】

「集まる回数がその程度なら」と、委員会に立候補してくれる人が増えた。

【課題だと思ふこと】

- LINEやメールを使うことで、対面で話し合う以上に時間をとられることがある。
- 学校内の活動負担を減らしても、区や市の活動があるのでそれを負担に感じることはある。

社会の変化に対応しながら一人ひとりが無理のない範囲で協力し、持続可能な活動をしていくことが大事だと思います。また、PTAは保護者達自身が楽しむ場でもあります。私たちの学校には様々なイベントを企画するメンズクラブ、コンサート活動を行うPTAバンドがあります。このような大人が笑顔になれる活動は子どもたちの笑顔につながっているので今後も続いて欲しいと思います。

桜台小学校PTA本部のみなさん



PTAバンドのコンサート

{ まさにこれから変えていこうとしています }

横浜市立南太田小学校PTA(南区) 学校代表:米村 知美さん

コロナもあって、このまま現行のPTAの体系にこだわっていると成り立たなくなる危惧から、この機会に全体の活動を見直し、少しずつ変えていこうとしています。

【見直した点】

各委員会の委員選出人数を変更〜これまではクラスごとに選出としていたものを、学年で最低限の人数集まればよい、というように変えた。

【試みたこと】

- 「会長」と「副会長」2人を併せて「学校代表」と名称変更して3人で会長職を分担しようとした。→学校関係者以外の一部の方々には説明をしなければならず、来年度には「会長」「副会長」に戻す予定。
- 令和2年(コロナ禍当初)にはボランティア制を導入〜期間半年の最低限の活動だったため各委員会はボランティアで構成した。→「自分ができることがあれば」「子どもや学校のために」と委員経験者でも参加いただけましたが、「在学中は子ども1人につき1回は委員をやる」という暗黙のルールのようなしづらい慣習がなかったら...とご参加いただけない方が多く偏りができてしまった。

「できる時に、できる人が、できることを」。多くの人が関わることでひとり一人の負担の軽減を目指しています。今までの観念に縛られることなく状況に合わせて変化できるPTAにするための基盤整理をしているところです。コロナ禍でPTAの活動が見えづらくなっていることから、学校のHPに活動写真を載せるなど「見える化」してPTA活動に興味を持ってもらいたいです。

南太田小学校PTA本部のみなさん



ママの健康応援プロジェクト

子どものことが大切なあなたへ

私は30代の頃、親友をがんで亡くしました。彼女とは、子どもたちの手が離れてからの、当たり前に来ると思っていた未来をいつも話していました。そんな彼女が身体の違和感について何気なく話したとき「気になるようなら病院行った方がいいね」と軽く受け流してしまいました。まだ30代、私たちは元気だったから。あのとき、もっと早く病院へ行くとすすめていたら、もっと早く病院に行っていたら、きっと彼女は今も子どもたちの成長を見守っていたのに…。20年経った今でも、病院のベッドで日に日に衰弱しながらも子どもたちを心配する彼女の姿、急にママがいなくなった幼い子どもたちの姿を忘れることはありません。当たり前に来ると思っていた未来は今のあなたの行動の先にあります。



シュフレ協会 武次直美さん

ベイ★キッズではママ友健診*など、ママの健康を応援する取り組みをしてきました。今号からシュフレ協会さんにご協力いただき、マジジンでもママの健康を応援する発信をしていきます。



子どもと一緒に受診できるお勧め検診情報

40歳以上の方向け

マンモグラフィ検査

かながわボランティア基金協働事業
主催:乳がん予防医学推進協会



未就学児のママ向け(妊娠中・授乳中OK)

超音波検査(エコー検査)

キッズパークで
「乳がん検診・子宮がん検診」
主催:ママのがん検診応援プロジェクト



初回無料